

伊豆鳥島（平成 15 年（2003 年）年報）

平成 15 年の活動概況

海上保安庁が行った上空からの観測によると、2002 年の硫黄山山頂火口からの噴火以降確認されている白色噴煙の噴出が継続して確認されました。また、3 月 10 日、11 月 6 日には、島の周辺海域において変色水域が確認されました。

主な活動経過

日付	火山活動
3 月 10 日	海上保安庁の観測によると、平成 14 年噴火の火口及びその南西に位置する陥没火口から白色噴煙が昇っているのが確認された。また、島の北西から時計周りに南側一帯にかけて、海岸線数ヶ所から流出した変色水が確認された。
6 月 5 日	海上保安庁の観測によると、平成 14 年噴火の火口及び火口南斜面の噴気帯から白色噴煙が昇っているのが確認された。島周囲沿岸海域には、変色水及びその他異常現象等は確認されなかった。
11 月 6 日	海上保安庁の観測によると、硫黄山火口の南側内側壁から白色噴煙の噴出が確認された。平成 14 年の火孔 2 ヶ所は土砂で埋まり水蒸気は認められなかった。 島の北側海岸線にはごく薄い青緑色の変色水が確認された。



図 1 硫黄山山頂火口の様子。南側（画面右下方向）内側壁に噴気がみえる。
（11 月 6 日、海上保安庁 撮影）